



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立宮の森中学校

読書センターとしての機能

◆文化委員によるおすすめ本コーナー◆

8時20分からの「朝読書」は、1日の学校生活に向かうためのよいルーティーンです。その大切な読書の助けになれば・・・ということで簡単なPOP付きの本の紹介コーナーがあります。館長の校長先生からの紹介本もあります。



◆「ビブリオバトル本」紹介◆

今年のビブリオバトルで紹介された本を展示しています。すぐに図書館に入ってこない本は、中央図書館の団体貸出を利用し、すぐに読むことができました。



学習センターとしての機能

◆図書館オリエンテーション◆

1年生の国語の授業で行います。図書館で行い、実際に興味のある本を借りてみるという学習です。

◆学習に役に立つ本コーナー◆

各教科の勉強法や資格試験対策の本があります。受験に向けての勉強や面接対策の本もあります。また、もっと教科の学習を深めるための発展的な本も揃っています。



◆ほしい資料がすぐに見つかる◆

学校図書館にないときは、寄託図書、団体貸出を活用し、できるだけタイムリーに学習で活用してもらえるように準備をしています。



情報センターとしての機能

◆数社の新聞朝刊◆が閲覧できます。

記事の読み比べも可能です。

◆北海道新聞データベース◆

まなbellを利用できます。



データベースの使い方や詳細は、一年生の「図書館オリエンテーション」や各教科の学習でお知らせしています。

Chromebook や図書館の PC で何でも調べることができますが、新聞や本もやはり重要な情報源のひとつです。ネット世界の情報はいつ誰が発信したのかわからない場合が多いですが、本や新聞は出所がはっきりしています。また、本は世の中に出る前に著者以外のいくつもの目でチェックされている情報でもあります。一方 Web 上の情報は印刷しようと思ったらページがなくなっていたり、通信会社やブラウザ・電気の状態に左右され閲覧出来なかったりといったこともあります。両方の特徴を知って情報とうまくつきあっていけるように指導しています。